

森で育つ子どもたち

～コロナ禍をしなやかに～



日時：令和4年2月2日（水）

講師：市川 雪絵（かごしま森のようちえん総合プロデューサー）

かごしま森のようちえんより市川雪絵さんをお招きし、幼児期における自然体験の重要性について、たくさんのエピソードを交えながらお話していただきました。スライドショーに映し出される子どもたちの、生き生きとした表情がととても魅力的でした。

また、子どもたちが本来持っている力を引き出し発揮していくために、森でこそできる環境づくりのコツから、たとえ森という環境がなかったとしても家庭で実践できるヒントまで、たっぷりと教えていただきました。



▲かごしま森のようちえんでは、吉野や唐湊の森がフィールド。

▶園児たちは雨の日も寒い日も、毎日森に出かけます。



日頃より子どもと関わるみなさん、
熱心に聴いてくださいました。



受講者の声

- 子育てに早速活かしたいと思いました！
- 森のようちえんの魅力や教育における重要な部分がとてもよくわかりました。
- 今、何よりも求められる生きる力の育て方、関わり方を学びました。色々な視点での話があり、非常に勉強になった。
- 子供へのかたりかけ方等、もっと具体例をきいてみたくなりました。
- 興味のあった非認知能力の育て方を具体的に伺えました。



▲写真やパネルをお借りして、講座前2週間は館内のキッズコーナーに、また当日は会場に、展示させていただきました。

今後に生かせる
学びの多い講座となりました。

講師の市川先生、
ありがとうございました。

